

Topics ■トピックス [学内情報]

別科・留学生寮併設の関西大学南千里国際プラザ ——「共に学ぶ異文化交流」で国際化を推進

◎「関西大学留学生別科」開設

関西大学は新たな国際化構想の一環として、関西大学南千里国際プラザ(吹田市佐竹台1丁目)を新設し、2012年4月に「関西大学留学生別科」を設置した。別科では、日本語の語学力養成に加え、ICT(情報通信技術)を学習に活用して情報活用能力を養う。また、留学生寮も併設され、「共に学ぶ異文化交流」の拠点が誕生した。



▼日本語の能力と情報リテラシーを養成

関西大学留学生別科(日本語・日本文化教育プログラム進学コース)は、本学の学部・大学院や日本国内の大学・大学院への進学を希望する外国人に対し、日本語・日本事情・日本文化などを教授することを目的としている。

本別科では、ICTやe-learningを授業内外の学習に活用し、日本語力や学術活動の基礎となる能力はもちろん、各学生の総合的なコンピュータ・リテラシーや情報リテラシーも同時に養成する。

日本の大学・大学院は、日本語能力はもとより、知的活動を支える高度な論理的・分析的・批判的思考力と言語運用能力を兼ね備える学生を強く求めている。本別科では、基礎学力を養成するクラスや思考力を鍛錬するクラスなどを設けている。学生は自分の目的やニーズに合ったクラスを履修し、必要な学力を語学力とともに養うことができる。

●授業科目

◎第1群「日本語科目」

言語能力レベル(日本語習熟度レベル)に合わせた4技能(読む・書く・聞く・話す)の習得を目指すクラス。習熟度に合わせたレベルの日本語能力試験・日本留学試験対策も行う。

◎第2群「特別演習科目」

専門性の高い語学力やアカデミックスキルを養成するクラス。レポートや論文を論理的かつ学術的な文書で作成したり、プレゼンテーションなどの口頭発表のスキルを身につける。

◎第3群「日本事情科目」

日本で生活する上で必要となる基本的知識(一般的な習慣や行事等)を、講義やさまざまな活動を通して学び、知見を深める。

◎第4群「総合科目」

日本文化や日本社会についての知見を深める。日本留学試験の「総合科目(政治・経済・社会・地理・歴史)」の試験対策も行う。

◎第5群「基礎科目」

日本の大学・大学院で学ぶのに必要とされる科目(英語、数学、理科)の基本的な知識を身につける。

●修了要件

1年以上在学して、第1群および第2群から24単位以上、第3群、第4群および第5群から8単位以上の合計32単位以上の修了要件単位数を修得した者には修了が認定され、修了証書を授与する。

▼一般学生・地域住民も共に異文化交流

留学生別科の教育施設と新しい留学生寮が併設された南千里国際プラザでは、ほぼ全館で無線LANが使える、寮室(全165室、すべて個室)でも全室、有線LANが使える。

また、互いに国際感覚を磨いてほしいとの観点から、関西大学の一般学生が「レジデント・アシスタント」として入居し、留学生の生活をサポートしたり、寮生が自然と交流できるようラウンジ・キッチンを共有する「ユニット制」を採用している。

南千里国際プラザは、別科生の学習の場であると同時に、一般学生や地域の住民の方々との交流の場としての機能も有している。「留学生・一般学生・地域住民による『共に学ぶ異文化交流』」をコンセプトに、本学および地域の国際化に貢献する。



1 教室棟は全館無線LANを完備
2 寮内共有スペースのラウンジ・キッチン
3 建物中央部のウェルカム・パティオ(中庭)
4 トイレ・ユニットバス付きの寮室



留学・国際交流を強力支援 関大から海外へ！海外から関大へ！

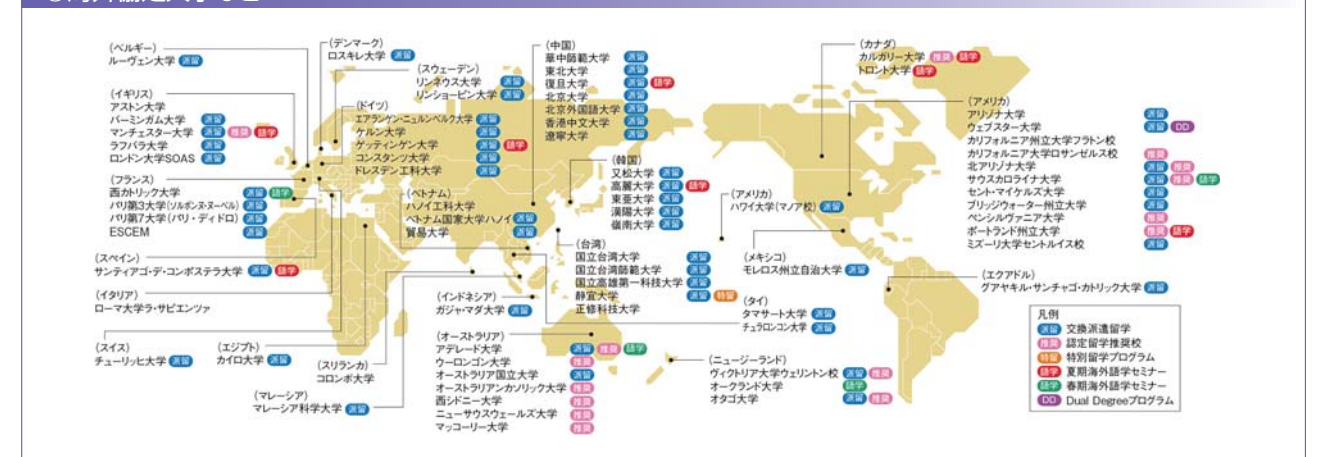
広がる海外協定大学などのネットワーク 多彩な留学・語学研修プログラムを提供

関西大学は、2012年5月現在、世界の62の大学と学術交流協定を締結し、研究者・学生の交流や学術情報・資料の交換など、活発な国際交流を展開している。そのうち56大学と学生交

換協定を締結し、本学から派遣する交換派遣留学制度がある。また、協定校以外の大学への認定留学制度、夏休みや春休み期間中に実施する約1カ月の海外語学セミナー(10カ国6外国語)、アメリカのウェブスター大学との共同学位(DD)プログラムなど、多彩な留学・語学研修プログラムを学生に提供している。



◎海外協定大学など(2012年5月1日現在)



海外に1研究センター、3オフィス設置 海外での情報発信を積極的に展開

▼関西大学日本・EU研究センター

創立120周年記念事業の一環としてベルギーのルーヴェン・カトリック大学(現ルーヴェン大学)内に「関西大学日本・EU研究センター」を2006年11月4日に設置した。日本とEU相互の研究交流を促進するための共同研究、EUやベルギーの市民・学生に対する日本文化の紹介を事業目的としている。毎年、ルーヴェン大学で国際シンポジウムを実施し、隔年開催で国際シンポジウムと併せ「Japan Week」を開催している。

▼関西大学海外オフィス:上海・バンコク・台湾



上海オフィス

上海オフィスは2011年1月、復旦大学の日本研究センター内に設置。バンコクオフィスは2011年10月、チュラロンコン大学の石油・石油化学研究科リサーチサービスセンター内に設置。台湾オフィスは2012年4月、正修科技大学内に設置した。3大学はいずれも海外協定大学。教育・研究・社

会連携活動の紹介、留学生別科をはじめとする学生募集活動、海外協定大学などとの学術交流、海外在住の本校校友との交流などの業務を遂行する。



台湾オフィス(左)とバンコクオフィス

南千里国際学生寮 2012年4月開館

日本学生支援機構(JASSO)の大阪第一国際交流会館1号館を関西大学が購入し、2012年4月に関西大学の国際学生寮としてオープンした(吹田市津雲台3丁目)。阪急千里線「南千里」駅から徒歩約10分、静かな住宅街の中にある。定員144人。

留学生だけでなく、関西大学の一般学生などが「レジデント・アシスタント」として共に生活する。寮室はすべて個室で、男女混住型だが、フロアは男女別。寮生の交流の場として多目的室や自習室などの共同設備も充実している。

